

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太

- ABCDEFGHIJKLMNOPabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789.,!?*
- ABCDEFGHIJKabcdefghijklmnopq0123456789.,!?*

36Q / 48H

或曇った冬の日暮である。
私は横須賀発上り二等客
車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待つて

18Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀
発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待つていた。とうに
電燈のついた客車の中には、珍らしく
私の外に一人も乗客はいなかった。外
を覗くと、うす暗いプラットフォーム
にも、今日は珍しく見送りの人影さえ
跡を絶って、唯、檻に入れられた小犬

14Q / 22H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二
等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を
待つていた。とうに電燈のついた客車の中には、
珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外
を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今
日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、
檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそうに、
吠え立てていた。これらはその時の私の心もち

28Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須
賀発上り二等客車の隅に腰を下して、
ぼんやり発車の笛を待つていた。と

18Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の
隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待つていた。とう
に電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も
乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォ
ームにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、
唯、檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそうに、吠え

14Q / 22H

或曇った冬の日暮である。私は
横須賀発上り二等客車の隅に腰
を下して、ぼんやり発車の笛を
待つていた。とうに電燈のつい
た客車の中には、珍らしく私の
外に一人も乗客はいなかった。
外を覗くと、うす暗いプラット
フォームにも、今日は珍しく見
送りの人影さえ跡を絶って、唯、